

子宮頸がん予防ワクチン接種のお勧め

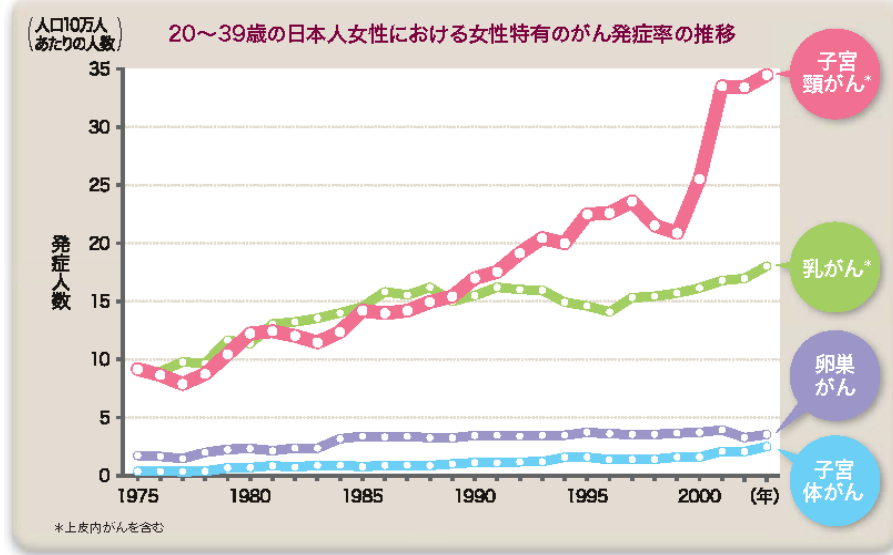
大手町さくらクリニック in 豊洲 TEL 03-6219-5688

【 ワクチン接種料金(税込) ~3回接種~ 】

1回分 16,000 円 初診料 2,000 円(初回のみ)

若い世代で子宮頸がんが急増しています。

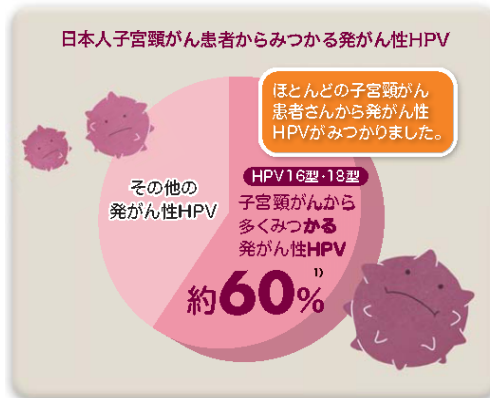
- 子宮頸がんが 20~30 代の女性で急増しています。
- 20~30 代においては、子宮頸がんは乳がんよりも発症率の高いがんです。



国立がんセンターがん対策情報センター、人口動態統計(厚生労働省大臣官房統計情報部編)

子宮頸がんは発がん性 HPV の感染が原因です。

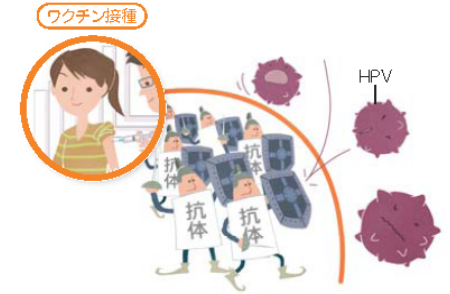
- 発がん性ヒトパピローマウイルス (HPV) は、多くの女性が一生のうち一度は感染するウイルスです。
- 感染してもほとんどの場合、自然に排除されていきますが、排除されずに感染が長引いた場合、子宮頸がんを発症することがあります。
- 発がん性 HPV には 15 種類ほどのタイプがあり、その中でも HPV16 型、18 型は子宮頸がんから多くみつけるタイプです。



1) Onuki M et al.: Cancer Sci 100(7):1312-1316, 2009

発がん性 HPV の感染を防ぐワクチンがあります。

- 子宮頸がん予防ワクチン(サーバリックス)は、すべての発がん性 HPV の感染を防ぐものではありませんが、特に子宮頸がんから多くみつける HPV16 型、18 型の 2つのタイプの発がん性 HPV の感染を防ぐことができます。
- サーバリックスを接種しても、HPV16 型および 18 型以外の発がん性 HPV の感染は予防できません。また、接種時に発がん性 HPV に感染している人に対して、感染しているウイルスを排除したり、発症している子宮頸がんや前がん病変の進行を遅らせたり、治療することはできません。



ワクチンを接種すると、抗体ができます。抗体は、ウイルスと戦って、ウイルスの感染を防ぎます。

発がん性 HPV16 型、18 型に感染する前にワクチンを接種すると効果的です。

- 子宮頸がんの発症は 20 代以降に多いですが、発がん性 HPV に感染してから発症まで数年~十数年かかります。
- 発がん性 HPV に感染する前の 10 代前半に子宮頸がん予防ワクチンを接種することで、子宮頸がんの発症をより効果的に予防できます。

十分な予防効果を得るためには3回の接種が必要です。

- 3回接種しないと十分な予防効果は得られません。
- 腕の筋肉に注射します。
- 3回の接種の途中で妊娠した場合には、接種できません。その後の接種については先生にご相談ください。

